



SINAP Journal

2013

—— 続く思い。続ける力。 ——

例年、弊社からの冬のご挨拶としてお送りしております「SINAP Christmas Project」ですが、今回は「SINAP Social Good」の一環として、昨年12月に「陸前高田 未来商店街にクリスマスイルミネーションを贈ろう!」というプロジェクトとして実施、お手伝いしている陸前高田 未来商店街にクリスマスイルミネーションを設置して参りました。

本年はプロジェクトのご紹介と SINAP Social Good 活動のご報告をあわせ、ご挨拶に代えさせていただきます。

東日本大震災からもうすぐ2年。震災後2度目の冬がやってきました。

震災関連の話題は徐々に減って参りましたが、瓦礫の撤去が終わっただけの被災地、仮設住宅で厳しい冬を越さざるを得ない方々、放射能汚染により故郷に戻れない方々など、被災地の復興と被災された方々の生活の安定は、まだまだこれからと言わざるを得ません。

2011年6月より「SINAP Social Good」として始めた被災された方々のお手伝いも1年9ヶ月を迎えます。毎月1、2度スタッフが交代で現地へ伺い、課題や悩みを直接お聞きすることで、それらを自分事として捉え、途切れることなくお手伝いを続けていくことが出来ました。

陸前高田の「酔仙酒造」は、津波により事務所・工場がすべて流されるという壊滅的な被害を被りましたが、多くの方々の協力により震災半年後には仮設の醸造設備で酒の仕込みを開始し10月には新酒を出荷することが出来ました。そして昨年8月には新工場の竣工に漕ぎ着け、現在は新しい工場での酒造りを進めています。

同じく陸前高田の「未来商店街」は、2011年末には陸前高田市内に用地を確保し、整地や建物代わりのコンテナなどを多くの方々の協力で調達。2012年1月から営業を開始しました。週末には地元のお店が集まって朝市を開催しており、賑わいのある商店街となっています。現在プレハブ店舗を建設中でこの春には新たなお店も増え、さらに魅力的な商店街となる見込みです。

私たちがお手伝いできることは僅かですが、被災された企業の復興を継続的にお手伝いし、売上を伸ばし、雇用を増やし、地域経済を回していくことが地域復興への一番の貢献になる。という考えは今でも変わっておりません。

引き続き被災地の方々に寄り添い、息の長いご支援を続ける事で、微力ながら復興のお手伝いを続けていきたいと考えております。

代表取締役社長
坂西 裕彰

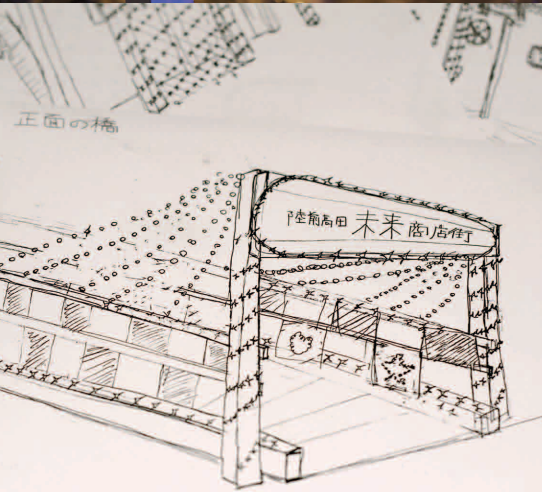


イルミネーションが灯った陸前高田未来商店街

—— 続く思い。続ける力。 ——

陸前高田未来商店街に クリスマスイルミネーションを贈ろう!

2011年の東日本大震災で壊滅的な被害を受けた岩手県陸前高田市。震災から1年以上たった今も、厳しい状況のなか復興へ向けて歩みを進めています。2012年のSINAP Christmas Projectは、そんな陸前高田の人たちに元気や笑顔を届けるため、陸前高田未来商店街にクリスマスイルミネーションを贈りました。



— 続く思い。続ける力。 —

仮設商店街に光を灯す 「陸前高田未来商店街」に 2万個のイルミネーション

クリスマスチャリティ企画を現地 での応援活動として実施

2012年の冬、シナップは震災からの復興に励む岩手県の陸前高田未来商店街にて、イルミネーション設置を行いました。シナップでは毎年ウェブを活用したクリスマスチャリティプロジェクトを実施しておりますが、今回は私達の得意とするIT支援だけでなく、スタッフが現地を訪問し直接的な応援活動も行いました。

クリスマスプロジェクトとは

シナップは創業以来、クリスマスの自社プロジェクトを社会貢献の機会と位置づけ、インドネシアの植林活動をサポートする企画を実施してきました。東日本大震災が起きた2011年から復興応援を目的としたクリスマス企画を行なっています。2011年のクリスマスは、東北を応援するスマートフォン向けウェブアプリケーション、「SINAP Christmas Project 2011 Twinkle Japan」を立ち上げ、同時に「Trust in Japan」への協賛を通じて復興支援に参加。今回はクリスマス企画としては2度目の震災復興プロジェクトを実施しました。

自立への一歩、陸前高田未来商店街

震災による甚大な被害を受けた岩手県陸前高田市。2012年2月、店舗を流した店主や地元に戻った若者が悲しみを乗り越え、手を取り合って「未来商店街」を立ち上げました。始まったばかりの小さな仮設商店街ですが、地域の誰もが集い、共存・共栄しながら店舗の自立を目指しています。商店もお客様も老いも若きも、誰でも主役になれるよう地域に活力を与える居場所・交流の場として、未来商店街は日々奮闘しています。

シナップと未来商店街

シナップはウェブサイト制作、ソーシャルメディア運用などコミュニケーション面を中心に被災企業の支援をしています。震災で大きな被害を受けられた岩手県陸前高田市にある酒造メーカー「酔仙酒造」の支援を2011年初夏から開始、2011年の12月からは「陸前高田未来商店街」の支援も開始しました。未来商店街には酔仙酒造と同様に隔週で訪問し、密なコミュニケーションを取りながら継続して支援活動を行なっています。

点灯実験を元に、パースデザインをおこなす。

手探りのイルミネーション企画が始動

何度かの社内プレストを経て、私達は商店街へイルミネーションを灯すことにしました。商店街をよりたくさんの方々に知ってもらい、多くの方が集い楽しむ場所にする。ひいては陸前高田のみなさんに笑顔と元気をお届けできないかと考えました。

しかし、いざ始めてみると一定規模の商店街を光で満たすミッションは家庭用のそれとは違い、様々な調査が必要でした。イルミネーションの技術書を参考に電飾の選定と点灯テストを繰り返し、手作りのパースでデザインイメージを作り上げていきます。また、現地での人員と設置時間は限られているため、社内で事前の準備を進め、数週間前から業務の合間にスタッフ全員でイルミネーションの防水処理や細かなデコレーションの作成など地道な下準備を行いました。

作業当日、夜行バスで現地入りした6名のスタッフを待っていたのは雪に覆われた一ノ関駅でした。「はたして作業はできるのだろうか……」。限られた時間でイルミネーションを完成させることができるのか、不安を抱えながらの移動でした。幸い、未来商店街のある陸前高田は少量の雪であったため着手できたものの、当時この冬一番の寒さの中の作業になりました。

想定と準備は十分に行ってきたつもりでしたが、いざ始めてみるとデザインや設置場所の変更、ケーブルの引き回しの調整など、乗り越えるべき課題が次々と発生します。それでも一つ一つこうした課題をクリアしながら設置作業は進んでいきました。

開始から2日目の夕方、未来商店街の正面玄関となるブリッジ、各店舗の外壁、そして商店街の真ん中に設けたデコレーションスペースへのLED設置をようやく終えることができました。薄暗い中、イルミネーションを点灯すると、夜間は真っ暗になってしまう商店街が大きな光に包まれました。商店街の方からも「言葉に表せないくらい嬉しい。本当にありがとうございました。」と、お言葉をいただき、商店街の復活へ向けて、微力ながら応援ができたように思います。

翌日「岩手日報」の朝刊にプロジェクトが紹介され、より多くの人に陸前高田未来商店街を知っていただく機会となりました。

約2万個のLEDは2012年のクリスマスシーズンから春先まで、陸前高田未来商店街を彩り続けています。



プロジェクトは下記のサイトで
<http://xmas.sinap.jp/>

スポンサーのご紹介

皆さまのご支援のおかげで 陸前高田未来商店街に イルミネーションを贈ることができました！

SINAP Christmas Project 2012では、イルミネーションの購入や設置などプロジェクト進行に必要な費用のため、スポンサーを募集させていただきました。多数の個人・企業様のご支援により無事にイルミネーションを陸前高田未来商店街に贈ることができました。皆さまの心あたたまるご支援、本当にありがとうございました。

企業スポンサー (あいうえお順)



個人スポンサー (あいうえお順・敬称略)

- | | | | | | |
|----------|----------|-------------|----------|-------|---------|
| 麻 雅幸 | 足立健誌 | 有馬和宏 | 安藤早織 | 伊藤優子 | 稲尾尚徳 |
| 内山美恵 | @ucchie | 海老原孝徳 | 大岡旨成 | 加藤洋祐 | 金光亜希子 |
| kanzmrsw | 藏野文子 | greative.jp | 小池洋平 | 小杉美香 | 小森由佳 |
| 斉藤俊輔 | ささきひろこ | 椎名慶太 | 塩川仁章 | 志田裕樹 | 清水ゆきこ |
| 竹本喜俊 | 田中正吾 | 名村晋治 | 陽奈子のかあさん | 平間久美子 | pinoxox |
| 馮 富久 | hokaccha | まりこ | mitikyo | 宮内純人 | 宮本加奈子 |
| 守谷絵美 | 山田亜沙子 | 結城美弥子 | 吉田 崇 | 渡邊あや | 渡辺直樹 |

お名前掲載は控えておりますが、他7名の方からご支援いただいております。

プロジェクトへのそれぞれの思い

STAFF VOICE

被災された方々の心に
あかりを灯せるよう
スタッフ一同プロジェクト
に進進して参りました。
たくさんの方々のご協力
に感謝すると共に、引き
続き細やかで息の長い
ご支援を続けていきたく
と思います。

シナップの復興支援活動
で被災地に訪問した時
に、復興はまだ長い
時間が必要なんだと
実感しました。これか
ら自分の手の届く範囲
で復興のお手伝いを
続けていければと思
います。

陸前高田のみなさんの
活力に少しでもお手伝
いできればとイルミネ
ーションを贈らせていた
だきました。灯がとも
った瞬間の、商店街の
みなさんの笑顔から、
私たちスタッフも元
気と笑顔をいただきました。

戻りたいと思うあいだ
に時間は進んでゆくの
で、笑顔でいられる未
来は信じたいと思いま
す。笑顔や未来を箱詰
めて届けることはでき
ない、人がつくった電
気の光に願いを込め
ました。

今回、奇麗なイルミネ
ーションを届ける事が
できるか不安だった。でも設置
後に、未来商店街の方
に心から喜んでいただ
けて本当に嬉しかった。
是非一度現地を訪れて
ほしい。本当に暖かい
ところだ。

自分だけの小さな力
で変わるものなんて無
いと思っていたのに、
ただ光とメッセージを
送るだけのこのプロ
ジェクトでも喜んで
いただけるなんて。
今年も引き続き何
かの形で応援を続
けたいと思います。

代表取締役
プロデューサー

坂西 裕彰

Web黎明期から一貫して顧客企業のビジネスに深く寄り添う提案を行い、指揮してきた数多くのプロジェクトはクライアントから高い評価を得ている。WebSig24/7モデレーター。長い黒髪が目印。



取締役

クリエイティブディレクター
大川 貴裕

多くのWebサイトをはじめ、企業のブランドデザイン、CI/VI開発、グラフィックデザインなど幅広い分野で活躍している。国際的なデザインコンペティションの日本人初受賞他、受賞多数。生粋のハマっ子。



デザイナー

小茅 奈美

テレビ局のデザイン部門、大手プロダクション数社を経てシナップ設立に参加。安定した品質を保ちながら新技術との親和性にも優れたデザイナーと、絶えない笑顔で創業からシナップを支える。



UI/UXデザイナー

松島 智

コミュニケーションとデザインの研究で大学院修了後、シナップへ。人に使われるためのデザインを掲げ、特に文章を読むためのUI実装では受賞率の高い評価を得る。EPUBほか電子書籍にも注力中。歌が好き。



フロントエンドエキスパート

柿内 暢昌

バリ十三大学ビジュアルコミュニケーション専攻卒業。現地制作会社でインターンの後、シナップへ入社。システム設計やディレクションも担当する。趣味は釣り。東北の海に魅せられている。



デザイナー

守谷 絵美

デザイナーとして制作会社を経て株式会社シナップへ入社。デザイン/UIの設計(ビジュアル全般)担当。Web専門書籍やコンテストへのデザイン提供、セミナーへの登壇など、活躍中。



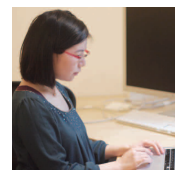
10年位前に宮城から青森の海沿いを旅して以来、東北のファンです。今回、未来商店街を訪れた際に被災地を歩き、あの日から止まったままの場所が沢山あることを実感。復興はまだまだです。



イルミネーションの明かりが陸前高田の人たちに暖かい気持ちと笑顔をもたらしてくれることを願って制作しました。シナップだけでなく多くの方々のご協力もいただいで実現できたことを嬉しく思います。



現地でのイルミネーション設置作業は想像以上に過酷でしたが、その分無事に点灯した時の喜びと感動は一人でした。未来商店街を温かく照らした光が、復興への希望の灯りとなりますよう願っています。



夜になると真っ暗になる陸前高田未来商店街。東京にいると気が付かない暗さでした。このプロジェクトで商店街に明かりを灯すだけでなく、人々の笑顔が集まることを願い、全力で取り組んでいます。



シナップの復興支援活動で被災地に訪問した時に、復興はまだ長い時間が必要なんだと実感しました。これからも自分の手の届く範囲で復興のお手伝いを続けていければと思います。

ディレクター

鈴木 善明

イベント会社を退職後、Webの専門教育を受け、シナップのディレクターに。常に複数案件を指揮しながらユーザー視点は絶対忘れられない。映像制作・写真ほか関心事への熱中ぶりに周囲も楽しくなる。猫好き。

ディレクター

内藤 万弓

イギリスの大学院に留学。帰国後シナップに入社。複数の新規案件を受け持つ傍ら、安定した運用・改善もこなす重要なディレクター。クールに見えて絶妙なユーモアにあふれた才女。海と町田が好き。

アシスタントデザイナー

野原 由貴

実務経験は浅くとも広範なスキルを持ち、デザインも実装もこなす頼れる存在。のんびりした印象の内にシャープな実務能力を秘める。目下シナップにて修行中。カレーとロックフェスが大好き。半分東北人。

総務/秘書/広報

外村 智子

Web制作会社で4年間デザイナーとして勤め、2012年春にシナップへ。元デザイナーの知見を活かして管理・総務等の技術面以外でスタッフを支える。着物とネイルと料理を愛する人気がブローガーとしての顔も。

ディレクター

三國 翼

制作会社数社を経てシナップに入社。猫とガジェットを愛するディレクター。主に新規案件の企画・設計を担当。好きなアプリはオムニグラフとExcel。新潟県佐渡島出身。WebSig24/7モデレーター。

SINAP TOPICS



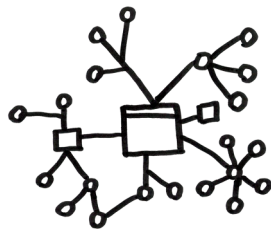
iPhone / Android アプリ

iPhone/Android に代表されるスマートフォンの普及については多くを語る必要はないでしょう。より身近になったスマートフォンの活用シーンにあわせ、さまざまなアプリケーションの開発が行われています。シナップでは昨年、自社コンテンツに GPS を利用したアプリケーションをリリースしたのをはじめ、スマートフォンならではの機能を活用したプロジェクトに携わり、新しいコミュニケーションの可能性に挑戦しています。



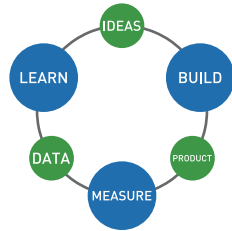
マルチデバイス対応

昨年は様々なデジタルデバイスが各社より発表されました。ユーザーの利用シーンは多様化し、その勢いはPCでの利用を上回るケースも少なくありません。様々なデバイスの特性に合わせて、コンテンツを最適な形で配信することは今後必須の取組みと言えるでしょう。シナップでは早くからマルチデバイス対応の Web サイト構築に取り組んでおり、そのノウハウで最適なソリューションをご提案いたします。



Webサービスの漸進的改善

Webサービスを継続的に発展させていくためには、日々細かな機能追加・調整とリファクタリングを繰り返していく必要があります。シナップではデザイン思考のアプローチと反復型開発手法(アジャイルプロセス)で、ユーザーのことをよく知り、プロトタイプを繰り返しながら、必要な機能やコンテンツをリリース。少しずつWebサービスを改善するお手伝いをしています。ご興味のあるWebサービスの運営者の方は、ぜひお問い合わせください。



新規事業 / 研究開発支援

近年、新規事業/サービスの立ち上げや企業の研究開発において「デザイン」の重要性に注目が集まっています。シナップでは、デジタル分野を中心に、UX/UIの観点からエンジニアリングと一体となり、モックアップ、プロトタイプ制作の制作支援を行っています。注目を集めるリーン・スタートアップ手法による開発ケースも増えおり、クライアントとの新しい組み方、新しい価値の創出に取り組んでいます。



EPUB / 電子書籍

Amazonによる日本国内でのKindleの発売およびKindleストアのオープン、楽天のkoboによる参入など、様々なデバイスとプラットフォームの競争は一層激しさを増しています。シナップでは早くから EPUB形式の電子書籍作成やEPUBビューワ開発といった研究開発に積極的に取り組んでまいりました。電子書籍が本格的な普及期を迎えるにあたり、紙の置き換えだけでなく新しい表現も生まれつつあります。一緒に新しい表現にチャレンジしてみたいとお考えの方はご相談ください。

あとかき

陸前高田未来商店街のイルミネーションはおかげさまでご好評をいただき、期間を延長して3月までの実施となりました。これからもシナップ一同、私たちにできる支援活動を続けていきたいと考えています。お仕事のご相談はもちろん、被災地支援のご紹介、イベントのお誘いなどお持ちしておりますので、スタッフや、以下の連絡先までどしどしお寄せください!

E-Mail : info@sinap.jp Twitter : [@sinapinc](https://twitter.com/sinapinc) Facebook : <http://www.facebook.com/sinapinc>

<http://sinap.jp/>